

REVOLUTION

6年学年だより
R4.12.21



振り返りますと、夏休みが終わってから今日まであっという間に過ぎてしまった感じがします。ここまで80日ほどの授業日数でしたが、全校の中心となつてがんばった運動会、思い出いっぱいの修学旅行、リーダーとして活動した金津っ子まつりと、充実した日々を過ごすことができたと思います。どの活動も、子供たち一人一人が、自分の思いや願いをもって一生懸命に取り組むことができました。たくましくなった子供たちから、体の成長はもちろんのこと、

心の成長も一段と感じます。

もうすぐ子供たちが待ちに待った冬休みです。学校生活で培った力を、今度はご家庭や地域で発揮する番です。クリスマス、大晦日、お正月……。1年間の締めくくりと希望にあふれる新年の始まりとで、子供たちにとっては学校生活の中では学ぶことのできない事を学べる絶好の機会となります。例えば、お手伝い。たとえどんなにわずかなことでも、実際に手を動かして体で覚える中で、子供たちは必ず何かをつかむでしょう。また、一家団欒の楽しさや、お客様の接待、よそのお宅を訪問しての礼儀作法の大切さを学ぶには、お正月ほどよい機会はありません。

ご家庭では何かとお忙しい日々を迎えられることとは思いますが、お子さんを交えて有意義な日々をお送り下さい。最後になりましたが、ご家庭の皆様のご協力に支えられまして、冬休みを迎えることができましたこと、心より感謝申し上げます。

9月～12月の学習を振り返って

<国語>・漢字の定着を!

字の形を覚えることは大変早くなりましたが、同訓異字の使い分けが難しいようです。それぞれの漢字の持つ意味をしっかりと覚えるために、こういった場合に使われるのかも併せて覚えるようにするといいでしょ。

(例 努める・務める・勤める 納める・収める・治める・修める)

また四字熟語やことわざ、慣用句もいくつか学習しました。しかし適切に使いこなすにはもう少し時間が必要なようです。新聞やニュースではよく耳にするので、生活の中で使い方を習得していくのが一番でしょう。

・書くこと・・・自分の考えや思いを効果的に表現できる事が大事です。

作文では、文章の長さを気にしがちですが、いかに中身の濃いものにするかがポイントです。自分の思いや考えが相手にきちんと伝わるように、より適切な表現で伝えられるよう語彙を広げたり、構成を工夫したりして、書く楽しさや伝え合う喜びを少しでも感じることができたらと願っています。

・読むこと・・・読む力は自己教育力の土台です。

読書量の多い子は、語彙も知識も概念も多く身に付きます。そのため理解も習得も記憶も確実になってきます。今年度ももっと本に親しんでもらおうと、積極的に読書に取り組んでいます。図書館から届く学級配本だけでなく、学年図書も廊下に置いてあり、子供たちには多くの本を薦めてきました。どんな本でも結構です。できるだけ多くの活字にふれられるように、ご家庭でも一声お願いします。

<算数>・比

比の計算はよくできていました。比を使った問題になると、比と数量との対応を勘違いすることが多かったです。線分図に書いてイメージをつかむことで、その比が何を表しているのかがつかみやすくなります。どんな文章題でもそうですが、まずは図に表してみると題意の整理ができ、式が立てやすくなると思います。これからの授業でも、この点について積極的に勧めていきます。

・比例、反比例

伴って変わる2つの量の関係が比例することを、根拠を明らかにして説明することもだいたい理解できていましたが、1通りだけでなく多面的に考えられるようになることが大事です。

比例も反比例も、中学校では理科の学習でもよく使われています。表やグラフを読み取る力も大事です。

